



事故のない暮らしを守る

シルバーキャラバン隊

5月9日(水)、林業センターでシルバーキャラバン隊の総会が行われました。シルバーキャラバン隊は、交通安全意識を高め、交通事故を減少させることを目的として結成されました。現在、町内7地区から、約80名の方が隊員として活躍されています。活動内容は、朝夕の街頭立番など交通安全の啓発活動が中心です。

総会では、東近江警察署の西岡邦彦署長から「日野町は平成24年3月22日に交通死亡事故ゼロ、〇〇〇〇日」を達成されました。今後も交通事故が減少するよう一体となつて取り組みましょう」とあいさつがあり、黄色いジャンパーに身を包んだ隊員の皆さんは、交通安全の啓発の大切さを再確認されました。



▲日野町長、東近江警察署長から委嘱書が手渡されました

文化がいきづく町へ

少年少女カルチャー教室開講式

5月13日(日)、林業センターで日野町少年少女カルチャー教室の開講式が行われました。カルチャー教室は、子どもたちが集う中で、子どもの感性と協調性をはぐくみ、文化的な活動を通じて仲間づくりを図ることを目的に今年度から開講しました。

開講式では、文化協会の西村泰郎会長から、「文化は、いろいろな分野があり、今年は7つの教室が開講した。皆さんが文化にふれあい、興味を持ってもらえる機会になればよいと思う」とあいさつがあり、受講生を代表していけばな教室に通う中野群士さんが一年間の決意を述べられました。



▲開講式で各教室の先生を紹介



▲各教室に分かれて打ち合わせ

ごみのない町にしようよ!

ごみゼロ大作戦

5月30日はごみゼロの日。この日にちなみ、町では5月27日(日)にごみゼロ大作戦を実施しました。

当日は町内の各種団体や住民の方、また田舎体験を受け入れ中の家庭の方と中学生の姿もあり、総勢152名の方が運動に参加され、約200kgものごみを回収することができました。

回収されたごみの中には、車のタイヤや傘などもあり、参加された方は、回収したごみの多さや種類に驚いておられました。



▲たくさんのごみが回収されました



まちな

自分たちの地域は自分たちで守る

鎌掛地区自主防災会

5月27日(日)、鎌掛公民館で鎌掛地区自主防災会発足式が行われました。鎌掛地区は若者の減少などの社会情勢の変化に伴い、3月末をもって地元自警団が解団。これをきっかけに鎌掛の防災防犯組織を見直そうと、運営会が中心となり自主防災会を設立されました。自主防災会は、情報連絡班、消火班、救出救護避難誘導班、給食給水班、防犯見守り班で組織され、現在鎌掛で活躍されている団体を中心に組織されています。

岡澤利雄会長は「各班で今まで築かれたノウハウを生かし、災害に備えていきたい」と話され、いつ起こるか分からない災害に備えて地域一体となって取り組んでいこうという決意を語られました。



▲地元の方、約100名が参加された発足式

手作り甲冑で町おこしを

手作り甲冑教室を開催



▲真剣な表情で甲冑づくりに取り組む受講生の皆さん

5月28日(月)から、鎌掛のしゃくなげ学校で手作り甲冑教室が行われています。

この教室は、日野町商工会が、蒲生氏郷公に思いをはせ、「日野商人と城下町日野」をPRする機会になればと開催されています。教室は、平成15年から実施され、今年で6回目。今回は10名の受講者が甲冑づくりに挑戦されています。甲冑は基本的に紙で作られています。甲冑は基本的な紙で作られていますが、仕上がりはまるで本物の甲冑のようでとても立派です。受講者は、「思っていたより難しい」と苦労しながら、世界でひとつだけの甲冑を作製していました。

仕上がった甲冑は、秋に行われる氏郷まつり「楽市楽座」や、9月に福島県会津若松市で行われる会津まつりの甲冑行列で着用される予定です。

日野駅から観光をPR

日野駅前通り共栄会らが観光看板を新設

このたび、日野駅前通り共栄会(合隆会長)が中心となり、駅前の共栄会駐車場において4m四方の日野町散策マップを作成されました。

この観光マップは、IT時代に対応できるよう、携帯電話などで読みとれるQRコードも掲示されており、観光客がアクセスすることで、最新の観光情報や特産品の情報などを入手することができます。

日野駅前通り共栄会では、今後この機能を活用して、特産品やお土産・レンタサイクルなどの割引やクーポンなどの特典をつけるなど観光に活用される予定です。



▲新設された観光看板。観光施設や行事、お土産の販売場所などの情報が満載です



▲QRコードも掲載されています